

# 「COVID-19 感染患者治療の疫学的調査」

## に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、国立病院機構東京医療センター救急科では、「COVID-19 感染患者治療の疫学的調査」に参加することになりました。

この研究の目的は、新型コロナウイルス感染症の患者さんの治療結果を調べて、新型コロナウイルス感染症の病態解明・治療法開発の一助とすることです。

この研究のため、2020年1月より2026年12月末までに治療した方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのは新型コロナウイルス感染症に罹患し、当院救命救急センターにて人工呼吸管理以上の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報である治療経過、治療内容、画像検査、採血結果のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります広島大学救急集中治療部に匿名化された状態でメールなどインターネットを通じて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については、横断的 ICU 情報探索システム（CRoss Icu Searchable Information System; CRISIS）研究 <https://www.ecmonet.jp/service-research/download-research/> をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年12月

研究責任者

東京医療センター 救急科

畠山 淳司

連絡先 03-3411-0111(代表)